

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 令和3年3月31日

都市名・国 京都府長岡京市・日本

取組の名称	小学校での平和学習
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	・乙訓地域(長岡京市、向日市、大山崎町)唯一の空襲と言われる神足空襲について次世代へ伝えること ・戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えること
対象者 (年齢・学年、人数等)	対象小学校の1学年(例:12歳の子ども60名、保護者や市民30人など)
実施場所	市内小学校
実施期間	平成16年から、市内小学校で順に毎年1回実施しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のために開催を中止しました。 ※定期的に行う取組は、その旨を記入し、いつから、どれくらいの頻度で実施しているかを報告してください。
<p>取組の概要(授業、イベントはプログラムの次第を、その他(例:コンテスト等)はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>(令和元年度・長岡第五小学校6年生を対象とした平和学習の流れ)</p> <p>令和元年5月28日(火)午後1時35分～3時10分(5、6校時)に、長岡第五小学校体育館で平和学習を実施しました。講師は京都府立大学文学部歴史学科教授(当時)の小林啓治さん。平和学習で学んだ内容については、児童が模造紙や文章などにまとめ、毎年7月に開催するイベントである「平和を考える市民フォーラム」で展示しました。</p> <p>①日本における戦争の経緯について(年表を使いながら簡単に説明)</p> <p>②長岡京市が実際に戦争にどのように関わっていたのかについて (出兵、戦時体制等について画像を使いながら説明)</p> <p>③当時の小学生の生活や戦争との関わりについて (勤労奉仕、小学生の作文等を、画像を使いながら紹介)</p> <p>④戦争の激化、神足空襲、終戦について (神足空襲メインで、どこでどのような空襲が起きたか)</p> <p>⑤長岡京市の平和への取り組み</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>多くの小学生が真剣に講師の話に聞き入り、休憩時間や学習時間終了後も講師のところに児童が集まって自主的に質問する等、非常に積極的に学習に取り組む姿が見られます。</p>	

成果

平成16年からの累計で数百人の児童に対し、神足空襲や、戦争の悲惨さや平和の大切さについて学ぶ機会を提供することができました。年々戦争を直接体験した人が減り、若年層への啓発の重要性が増している今、今後も継続して取り組む必要がある事業であると言えます。

課題

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、中止を余儀なくされました。今後は、新型コロナウイルスの感染拡大局面にあっても、安定して児童を含む若年層に啓発することができるような取り組みの工夫が必要です。

取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）

別添いたします。

上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）

掲載可能（素材を添付してください） 掲載不可 不明

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。